

## 研修プログラム及び定員（総定員：61名）

### ① 大阪大学総合コース（定員：12名）

1年目	内科（24週） <sup>a)</sup>	救急（12週） <sup>b)</sup>	他の必修科目（16週） <sup>c)</sup>
2年目	他の必修科目（8週） <sup>c)</sup>	地域医療 <sup>d)</sup> （4週）	選択科目（40週） <sup>e)</sup>

### ② 大阪大学MD研究者育成研修コース（定員：2名）

1年目	内科（24週） <sup>a)</sup>	救急（12週） <sup>b)</sup>	他の必修科目（16週） <sup>c)</sup>
2年目	他の必修科目（8週） <sup>c)</sup>	地域医療 <sup>d)</sup> （4週）	選択科目（40週） <sup>e)</sup>

### ③ 大阪大学診療科重点Pコース（定員：2名）

1年目	内科（24週） <sup>a)</sup>	救急（12週） <sup>b)</sup>	他の必修科目（16週） <sup>c)</sup>
2年目	他の必修科目（4週） <sup>c)</sup>	地域医療 <sup>d)</sup> （4週）	小児科（12週）

#選択科目については、小児科と相談のうえ、研修計画を立てること。

### ④ 大阪大学診療科重点Gコース（定員：2名）

1年目	産科婦人科（12週）	内科（24週） <sup>a)</sup>	救急（12週） <sup>b)</sup>	他の必修科目（4週） <sup>c)</sup>
2年目	他の必修科目（16週） <sup>c)</sup>	地域医療 <sup>d)</sup> （4週）	選択科目（32週） <sup>e)</sup>	

◎産科婦人科を1年目の最初にローテートすること。

◎麻酔科を中心に循環器内科、放射線科、病理学など産婦人科に関係の深い分野を経験することが望ましい。

### ⑤ 協力型研修病院・大阪大学コース（定員：43名）

1年目	内科（24週）	救急（12週）	他の必修科目（16週）
2年目	他の必修科目（8週） <sup>c)</sup>	地域医療 <sup>d)</sup> （4週）	選択科目（40週） <sup>e)</sup>

◎1年目は下記協力型臨床研修病院で研修を行う。

【協力型臨床研修病院】各病院の定員数については募集要項1-（4）を参照。

大阪警察病院	地域医療機能推進機構大阪みなと中央病院	国立病院機構大阪医療センター
地域医療機能推進機構大阪病院	大阪府済生会千里病院	国立病院機構大阪南医療センター
大阪労災病院	国立病院機構大阪刀根山医療センター	兵庫県立西宮病院
国家公務員共済組合連合会大手前病院	西宮市立中央病院	市立伊丹病院
市立吹田市民病院	公立学校共済組合近畿中央病院	八尾市立病院
日本生命済生会日本生命病院	医療法人川崎病院	市立芦屋病院
市立東大阪医療センター	市立池田病院	市立貝塚病院
箕面市立病院	大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター	地域医療機能推進機構星ヶ丘医療センター
りんくう総合医療センター	市立豊中病院	大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター
川西市立総合医療センター	関西労災病院	

## ◆ 上記①～⑤の共通事項

- ◎1年目は内科（24週以上）、救急（12週）を必修とする。
- ◎必修科目の外科、産科婦人科、小児科、精神科を4週以上研修し、一般外来、在宅医療を経験すること。
- ◎研修プログラム院内規定として、麻酔科を連続8週の必修とする（①②③④）。
- 協力型研修病院・大阪大学コースにおいては麻酔科を通算8週の必修とする。協力型研修病院での履修状況に問わらず大阪大学医学部附属病院で8週経験することが望ましい（⑤）。
- ◎必修科目、選択科目の研修順序は各研修医により異なる。
- ◎院外研修選択可能期間は最大20週（①②③④）、最大12週（⑤）とする。
- ◎ER研修（救急相当4週もしくは8週：箕面市立病院で2次救急を経験）の希望がある場合、上記の院外研修の最大期間内（20週：①②③④、12週：⑤）に収まる限り、2年目に選択が可能。選択についてはコース①②③④履修生を優先する。

## ◆ 大阪大学医学部附属病院で研修を行う場合

### a) 内科研修（24週）：

- 下記の6診療科グループから4診療科グループを選択し4週または8週研修を行う。
- ①糖尿病・内分泌・代謝内科／免疫内科
  - ②消化器内科（4週のみ）
  - ③血液・腫瘍内科
  - ④循環器内科／腎臓内科
  - ⑤呼吸器内科（8週のみ）／老年・総合内科
  - ⑥神経内科・脳卒中科（8週のみ）

### b) 救急研修（連続12週）：下記から1部門を選択し研修を行う。

- ①大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター
- ②大阪府立中河内救命救急センター
- ③社会医療法人きつこう会多根総合病院 救急科

### c) その他の必修科目研修

- ・外科、麻酔科、産科婦人科※1、小児科※2、精神科で研修を行う。

※1 診療科重点Gコースは、1年目に連続12週研修を行う。

※2 診療科重点Pコースは、2年目に連続12週研修を行う。

- ・外科研修：以下の5診療科から1診療科を選択し、研修を行う。

①消化器外科 ②呼吸器外科 ③心臓血管外科 ④小児外科 ⑤乳腺・内分泌外科

- ・麻酔科研修：研修コース①②③④では連続8週の研修を必須とする。

急変対応能力強化を主眼とした研修を実施。

### d) 地域医療研修：研修協力施設（地域医療11機関、4週）、離島研修（8週）から1ヶ所を選択する。

選択についてはコース①②③④履修生を優先する。

### e) 選択科目研修：下記から希望する診療科を選択する（最低4週、連続8週以上を推奨）。

循環器内科、腎臓内科、消化器内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、呼吸器内科、免疫内科、血液・腫瘍内科、老年・総合内科、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、整形外科、皮膚科、形成外科、神経内科・脳卒中科、神経科・精神科・脳神経外科、麻酔科、産科婦人科、小児科、泌尿器科、放射線科、集中治療部、病理部、高度救命救急センター、感染制御部